



アサリ号

《私が子どもだった頃》 侍従会元顧問 廣瀬 一雄

これから、私が覚えている昭和初期の侍従川の様子を書き綴ってみたいと思います。朝比奈峠を水源として、大道を縦断し、川、三艘を通り平湯湾に注ぐ清流が侍従川です。その昔、照手という高貴な姫が盗賊に追われこの金沢の地で行方知れずになったとき、その乳母の侍従という人が嘆きのあまり、この川に身を投じたという逸話から侍従川と付けられたという伝説があります。侍従川は水が清く絶えたことがなく、お陰で大道は大変豊かな村でした。現在は大道中学校のバス停の近くにある、岩に彫られた風化したお地藏さんは鼻欠地藏と言い、相州（今の鎌倉）と武州（今の金沢）の境に肥えた土地争いの仲裁役として建立されたと言われていますが、争いがなかなか絶えないのでお地藏さんが見せしめに、自分の立派な鼻を欠いてしまったと言いつたされています。侍従川は、うねうねと曲がりくねり、自然の水の流れそのままの姿をしており、両側は大名竹が生い茂り遠くからでも一目で川であることがわかりました。

川間のネコ柳が白銀色の芽を吹く頃になると侍従川にも春がきます。大道のお庚申様のある所



アサリ（浅蜊、蛤仔、鯛）

学名：*Ruditapes philippinarum*

二枚貝の一種で、貝殻は様々で同じ模様がないほど。日本を始め東アジアに分布。食用として重要な貝で「春の大潮」時には潮干狩りの光景が見られる。1個体で10L/日の水を浄化すると言われるが、近年、乱獲、生息域の埋め立て、青潮などの環境悪化により漁獲量は激減している。なお、2cm以下のアサリや15cm以上幅の漁具による捕獲を禁じている。

解説：山田陽治

から侍従川の間の土地を川間と呼んでいました。川の土手にはツクシ、タンポポ、スミレ、レンゲ、ナズナなど色々な野草でおおわれます。川岸の竹藪ではウグイスが鳴き、セキレイ、カワセミ、カワラヒワ、アオジが飛び交い麦畑ではヒバリが鳴きはじめます。

六月になると西大道に、渇水期に田んぼに水を供給するために川をせき止めた大堰が作られます。この頃から川の水が減って子どもたちの川遊びの時期になります。大堰の下の水たまりにはエビ、フナ、ハヤが沢山いて、子どもたちはわれ先に網でとります。川の下流では、かい堀りが始まります。これは水をせき止めて中の水をかい出して魚を捕る方法でウナギ、ドジョウがよく捕れました。七月七夕がすぎ夏祭りが近づく頃、夜、川岸でホタル取りが始まります。夜露で足がびしょりになりました。

八月末頃、大池の水が抜かれます。池の中にはコイや大きなウナギがいっぱいいて大人も子どもも夢中になって捕ります。これは一年に一度の楽しみな年中行事でした。秋になって水が不要になると大堰が開けられ放水します。水の少なくなった川ではウナギ釣りが行われます。十月頃、大潮になると諏訪の橋の上でハゼ釣りが行われます。10センチくらいのハゼがよく釣れました。このハゼは竹串に刺して焼き、お正月の昆布巻用として保存しました。チンチンカエズ（黒鯛の子）や白魚も海から上がってきました。秋も深まり稲刈りも終わり、雑木林に北風が吹き抜ける頃、川岸には霜柱が立ち、川面は薄氷におおわれて侍従川も冬支度に入ります。 おわり

神奈川県横浜川崎治水事務所と侍従川の改修工事に関する話し合いの詳細報告

細川 一雄

2011年10月3日(月)午後7時から大道コミュニティの図書室で治水事務所と侍従川の改修工事に関しての話し合いを行いましたので、その詳細を報告します。尚、神奈川県横浜川崎治水事務所の管轄範囲は、平潟橋～大道橋迄の区間であり、大道橋から上流と途中の支流は横浜市の管轄となっています。

侍従会からの要望事項は大きく分けて以下の5項目です。(詳細は別添要望書参照)

- [1. 工事の実施時期は生物に与える影響が一番少ない時期に実施していただきたい](#)
- [2. 大道東橋下流にある葦原は是非残して置いていただきたい](#)
- [3. 護岸・河床については、生き物たちが生存・繁殖できるような環境にしていきたい](#)
- [4. 侍従川と地域小学校の環境教育との関係についてご配慮を願いたい](#)
- [5. 工事計画案の作成に当会のメンバーを参画させていただくか、計画作成のキーポイントで工事の計画案を開示していただけないかご検討いただきたい](#)

以上5項目に対し、治水事務所側からは、「今は治水一辺倒ではなく、生き物の棲息にも配慮した環境を維持するように工事の方法も変わってきている。ただし、今回の東日本大震災による津波の被害や護岸の老朽化等の問題も含め、住民が洪水の心配をしているのでこの機に護岸や堆積物の状況をしっかりと調査・確認し、来年度に予算を確保して必要な対策を取りたい。また、侍従川をどのような川にするのか侍従会と一緒に考えたいので是非アイデアをいただきたい。その為にも侍従会と定期的に話し合いを持ちたい。」との回答でした。

皆さん良いアイデアがあったら是非発信してください。

以下に要望書と議事録を添付しますのでご参照ください。

平成 23 年 10 月 3 日

神奈川県横浜川崎治水事務所

所長 杉山 孝一 様

ふるさと侍従川に親しむ会

会長 相川 澄夫

〒236-0033 横浜市金沢区東朝比奈 1-16-7

電話 045-785-3838、FAX 045-786-0039

侍従川の護岸・河床改修工事に関する要望事項提出について

拝啓 初秋の候、貴所ますますご清祥のことと、お慶び申し上げます。平素は当会の活動に対し格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、先日貴所にて侍従川の護岸及び河床の調査を予定しているとの話を伺いましたが、長年侍従川を活動の拠点として川の清掃活動及び自然環境の保全・保護活動、河川の水質調査や生き物調査を行っております当会としましても、調査の結果、改修工事が必要と判断され、実際に改修工事が行われる際は、多種・多様な沢山の生き物が生息する現在の侍従川的环境をできる限り維持できるような工事を実施していただきたいと考えております。

つきましては、今後改修工事が実施されますときには、下記の内容に配慮して実施していただきたく要望いたしますので何卒ご配慮をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 工事の実施時期は生物に与える影響が一番少ない時期に実施していただきたい

(1) 生き物の活動時期はその種類により多様であり、1年中がその活動時期といえますが、その中でも活動が停滞する冬の間が生き物に一番影響が少ないと考えます。

(2) その為、できましたら11月～2月の間に工事が実施出来ないかご検討頂きたいと思います。

2. 大道東橋下流にある葦原は是非残して置いていただきたい

- (1) 大道東橋の下流に生えている葦は、川の水や土壌を浄化する作用があるといわれております。
- (2) さらに、その葦を利用して毎年、横浜市立大道小学校と当会が主催して、小学校の児童及び近隣の方々と一緒に葦舟を作っており、葦原が無くなると葦舟が作成できなくなってしまう。
- (3) 今まで、毎年1月から2月頃に、枯れた葦を刈り取り、3月にその葦を使って葦舟を作成し、5月及び8月に葦舟の乗船会を開催しており、子どもたちに非常に貴重な体験活動を10年近く続けています。
- (4) 今後も、子ども達にこのように貴重な体験を継続させるためにも、是非葦原は残して置いていただきたい。

3. 護岸・河床については、生き物たちが生存・繁殖できるような環境にしていきたい

- (1) 現在護岸の隙間にカニやうなぎ等が住み着くなど、生き物にとって凹凸のある場所は非常に住みやすい場所となっています。治水上は護岸に隙間やひび割れがあることは大きな課題である事は理解いたしますが、逆に生き物にとっては生きるのに非常に快適な場所となっています。
- (2) その為、護岸を平らなコンクリートで塗りつぶされてしまうと現在住み着いている生き物達の行き場所がなくなってしまいます。つきましては予算との兼ね合いがあるかとは思いますが、これらの生き物が住めてしかも護岸の役目をするカニパネル（鹿島建設で施工）のようなものの採用を是非ご検討いただきたい。
- (3) 環境教育の負の教材になる虞のある改修工事は是非避けていただきたいと思います。

4. 侍従川と地域小学校の環境教育との関係についてご配慮を願いたい

- (1) 近隣の小学校（大道小学校、高舟台小学校、六浦小学校、瀬崎小学校等）では子ども達の環境教育の実践場所として侍従川を活用しています。侍従川は全長3kmと非常に小さな川ですが、逆にその小ささのおかげで他の川と違って実際に川の中に入って子ども達が自然を実感できる環境があります。下流付近は汽水域のため海の生き物が、中流域では川の生き物が沢山生息し、それらの生き物を狙って鴨、白鷺、青鷺、カワセミなどの鳥が飛んできます。子ども達がそれらの生き物と触れ合う事ができる環境が侍従川にはあります。
- (2) また、侍従川に生えている葦を刈り取り葦舟を作ったり、川に入って川の清掃活動や生き物を捕獲して川の水族館を作るなど、侍従川の現在の環境は非常に子ども達の環境教育に有効なものとなっています。
- (3) これらの活動を今後も継続するためにも、現在の侍従川の自然環境を出来るだけ保持できるようにご配慮いただきたい。

2011年9月9日・・・大道小学校全校生徒による侍従川の清掃と生き物採集・観察

2011年9月26日・・・高舟台小学校の5、6年生が侍従川に入り生き物採集・観察

2011年10月6日・・・大師高等学校の生徒30人が侍従川で清掃活動と自然環境体験学習予定

(4) 平成23年3月に県土整備部河川課により作成された「かながわの川づくり計画」のハード対策の中の河川の整備にも記載されている〈多自然川づくり〉にもありますが「河川は、身近な自然とふれあえる貴重な公共空間であり、人々に安らぎや潤いを与える場所です。こうした河川の環境を整備・保全すると共に、自然とのふれあいの場としてだけでなく、環境学習の場や人々の交流の場としても利用できるよう、治水対策とともに、地元市町村や地域の方々と連携を図り、自然環境や社会環境、景観や水質、親水などに配慮した、人と自然にやさしい川づくりを進めます」を是非実践していただきたいと思います。

5. 工事計画案の作成に当会のメンバーを参画させていただくか、計画作成のキーポイントで工事の計画案を開示していただけないかご検討いただきたい

- (1) 誠に勝手な提案ですが、出来ましたら改修計画案の作成に当会のメンバーを参画させていただくか、工事の仕様を確定する前に、各キーポイントで工事の計画案を開示していただけないかご検討いただきたい。
- (2) 今回の本提案は、決して貴事務所で計画されている改修計画を妨害するものではありませんし、その意思もありません。ただ、改修工事を実施する際に、工事の時期・工事の方法（護岸工事を片側ずつ実施したり、数年に亘って実施し、環境の自然治癒を確認しながら出来ないか？）・工事の材料の選択等を多方面に亘って検討していただき、できれば現在の自然環境を出来るだけ壊さないように出来ないかとの思いのみで提案を行っております事を是非ご理解いただきたい。
- (3) また、今後の保全活動の草刈り等の作業についても事前にご連絡頂ければ、当会のメンバーも参加して、今までの様に根こそぎ刈り取って生き物を全て排除するのではなく、なるべく生き物が退避できる場所を作ったり、生き物に影響が少なくなるように、刈り取る場所や刈り取る方法等について現場で調整しながら実施する事も可能ですので是非ご検討ください。
- (4) 更に2年前に実施しました、貴所と当会との情報交換会を今後定期的を開催し、双方の意思の疎通を図ることも有意義と考えておりますので、是非ご検討ください。

以上

神奈川県横浜川崎治水事務所との打合せ議事録

- ・開催日時 平成23年10月3日（月） 19時～20時30分
- ・開催場所 大道コミュニティ 図書室
- ・出席者 侍従会：相川会長、長橋、細川(侍従川河川管理協力員)、廣瀬、伊藤、押田
神奈川県横浜川崎治水事務所：工務部 河川第二課 春原(すのはら)課長、菅原副技幹

■ 議事内容

1. 細川が要望書を説明（添付資料参照：「侍従川の護岸・河床改修工事に関する要望書」）
2. 治水事務所からの説明と回答

- (1) 侍従川の護岸は昭和30年代に作られたもので老朽化が進んでいる（治水事務所説明）。
- (2) 東日本大震災の津波や異常気象の影響で、住民が洪水の心配をしている（治水事務所説明）。
- (3) 侍従川は時間当たり50mmの降水量に耐えられるように設計されているが、土が堆積しているため、もっと少ない降水量で氾濫する可能性がある（治水事務所説明）。
- (4) 毎時50mmの雨の降る確率は6.3年に1回、また、その次のレベルの毎時60mmの雨の降る確率は10年に1回程度の確率で発生する（春原課長の説明）。
- (5) 2012年3月迄に測量を行い、今回の地震の影響による護岸の破損等を調べることになっている。その結果を基にして、来年度に予算をとって侍従川の改修を考えている（治水事務所説明）。
- (6) 全面的な改修でなく、生き物を絶滅させないように部分的に改修して行きたい。昔のように治水だけが目的でなく、環境に考慮した改修をするように制度も変わってきている（治水事務所説明）。
- (7) 1立米の汚泥を処分するのに3万円くらいかかるので一度に広い範囲の工事はコスト的にも出来ない。部分的な改修工事になる。⇒侍従会からの要望事項：時期をずらすなどして生き物に対する影響を最小にすること等も考慮してほしい。
- (8) 新しい護岸は、生き物が棲めるようにしたいと考えている（治水事務所説明）。⇒侍従会から鹿島建設のカ二護岸パネル（護岸が二重になっていて裏側に生き物が生息できる隙間がある）を紹介。
- (9) 改修に際し、川の中央部を深くし、川岸の近くは、子どもたちが川に入って歩けるような浅い部分を作るということも可能（治水事務所説明）。
- (10) 侍従会の人たちと侍従川をどのようにしていくかを考えて行きたい。侍従会からの要望やアイデアを出して欲しい（治水事務所説明）。
- (11) 年に2回程度、定期的に侍従会と治水事務所との情報交換のための打ち合わせを行いたい。⇒1回目は、測量が終わった4月ごろにしたらどうか（双方で合意しました）。
- (12) 草の伐採は、自治体委託という制度もある（治水事務所説明）。
- (13) 県営跡地は、かなり深く掘らないと遊水池にはならない（治水事務所説明）。
- (14) 親水護岸にして、侍従川の生き物を観察できるような場所にしたらどうか（侍従会要望）。

以上



ヤマアカガエルが危ない！！

山田・佐野

ヤマアカガエルというカエルがいます。1月の終わり頃から3月にかけて池や田んぼ、湿地、水溜りなどに卵を産みます。かつて侍従川流域ではいくつかの生息地がありましたが、最近すごい勢いで少なくなっています。



ヤマアカガエル



ゼリー状の卵塊

侍従川流域でヤマアカガエルが卵を産む場所は2005年頃までは5か所程あり、数も比較的多くみられました。しかし、今年(2012年)調査をしたところ、3か所に減ってしまったことがわかりました。そしてそのうちの2か所は数も少なくまさに風前の灯火です。ヤマアカガエルの減少は、ヤマアカガエルを餌とするヘビの中間や肉食の水生物にとっても深刻な問題です。



2005年頃の生息状況



2012年の生息状況

日付	地名	♂個体数	♀個体数	卵塊数	確認者名	備考
20120206	朝比奈小学校	0	0	33	山田	
20120208	大道小学校	2	1	0	山田・佐野	産卵は確認できなかった
20120209	十二所果樹園※	0	0	0	山田・西井	
20120209	朝比奈切通し※	0	0	2	山田・西井	水辺が70cm程度に縮小
20120209	朝比奈切通し入口湿地	0	0	0	山田・西井	乾燥化が進行。水辺がほとんどない
20120209	大道中学校裏山農地	0	0	0	山田・西井	水辺が数か所埋められた
20120209	大道小学校	0	0	0	山田・西井	
20120210	大道小学校	0	0	2	伊藤	
20120211	朝比奈小学校	0	0	34	佐野	6日から1卵塊増えた
20120211	朝比奈切通し入口湿地	0	0	0	佐野	
20120221	朝比奈小学校	1	1	35	佐野	21日から1卵塊増えた
20120226	大道小学校	0	0	3	山田・佐野	9日から1卵塊増えた
20120307	大道中学校裏山農地	2	0	0	佐野	卵塊は確認できなかった
20120307	朝比奈切通し入口湿地	0	0	0	佐野	
20120311	大道中学校裏山農地	1	0	1	佐野	
20120321	大道中学校裏山農地	0	0	5	佐野	4卵塊増えた

※は侍従川の流域ではない

12月定例クリーンアップ

【活動報告1】

12月25日（日） 9:00~11:30 晴れ8℃

大道東橋～朝比奈橋（ゴミ拾い）、大道橋上流（草刈り） 細川一雄

参加者：相川澄夫、長野政治、角田繁、西澤博厚、長橋輝明、外川忠志、廣瀬隆夫、寺尾勝廣、高橋のりみ、高木之靖（パドコ）、山田陽治、古賀ファミリー5名、青柳亮祐、池田麻美、斉藤夏希、西井洋一、酒巻稜生、柴田真穂、細川一雄（計23名）

この冬一番の寒気（クリスマス寒気）が襲ってきたクリスマスの朝、やはり空気は冷たく先月の暖かさが信じられない寒さです。しかし幸いにも風が吹いていないので手がかじかんでしまう程では有りませんでした。

今日は、今年最後のクリーンアップ、来週はもう元日です。皆さん自宅の大掃除に忙しい時期ですが、沢山の人が参加してくれました、しかもクリスマスの日！！有り難いことです。遠路参加してくれた屏風ヶ浦小学校の酒巻君、柴田さん、東京コミュニケーション専門学校の斉藤さん、西井さん、横浜市立大学の青柳さん、池田さん、久しぶりに参加してくれた市議会議員の高橋のりみさん、心からお礼申し上げます。

大道橋から上流域（横浜屋横）は、年に一度の草刈り作業だけでは足りないようで、草が大分伸びてきてしまい見苦しくなって来ましたので、今回は、大道橋上流の草刈り・ゴミ拾いと治水事務所の草刈りが終わったばかりの大道東橋～大道橋間はゴミ拾いを重点的に行う事にしました。

参加者を下流域のゴミ拾いグループと、上流域の草刈り・ゴミ拾いグループに分けて、作業を行いました。また、先月里野橋横の駐車場脇の刈り取った草を回収することにしました。

上流域では、里野橋横のゴミ集積所からカラスが引っ張り出して突っついた？大量の生ゴミが川の中に散乱していました。バナナの皮、カニと卵の殻など普段回収することのないゴミが多数ありました。普通カラスが散らかしても道路の上であれば皆で掃除するのに川の中



に入ったらそのまま・・・（川はゴミ箱と一緒？）・・・、こんな考えが住民の中にあるから一向に川のゴミが減らないのか？とつい邪推してしまいます・・・

また、橋の近くに草が生えているとやはり多くのゴミが捨てられていましたので、青木橋、里野橋の下の草も刈り取って橋の下に置いておきました。

下流域には山田さんを先頭に子ども達がついていきました。魚を採ることが出来るとあって張り切って川に下りていきます。川の自然を楽しみながらゴミも沢山拾ってくれました。



大道橋上流の草刈りは、大人グループがメインに活動します。この区間は夏には2ヶ月間かけて草を刈っていましたが、真夏ほど草が伸びていないため、今回は1日で草刈りを終了しました。また、草丈がそれほど長くないため束ねて回収せずに、自然に枯れて土に戻るようしておきました。

また、先月と同じように里野橋の下で見つけた空き缶を拾って水を切っていると、中のごそごと動くものがあります。見ると中に魚が入っていました。小さな隙間でも魚が棲みかになっている事が分かりました。出来たら、水に流されないように重たいレンガやコンクリートで小さな隙間をいっぱい持ったものを川に沈めると水草や土が少ない上流域でも魚が増えてくるかも知れません。また、相川会長を通じて区政推進課に侍従川上流域の堰にも、魚道を設けて欲しいと申し入れをしてもらいました。いつになるか分かりませんが、こういう要望があるんだと云う事を知ってもらうだけでも、何らかの工事の時に対応してくれるかも知れません。そうすると上流域もイタチ川のように自然環境に配慮した川に生まれ変わる可能性があるかも知れません。

今回は古賀さんが、ちとせ園にコンロと鍋を持ち込み、甘酒を作って皆さんにご馳走してくれました。作業終了後のあたたかい甘酒はとても美味しかったです。特に甘酒に入れた生姜は体が温まり大変美味でした。古賀さん有難うございました。是非今後もよろしくお願い致します。また子どもたちにジュースとお菓子を、大人には喉を潤おす飲み物を配り、作業終了後のひと時を過ごしてもらいました。



甘酒を振舞ってくれた古賀さん
コンロと鍋を持ち込んでくれました



長野副会長から昔の侍従川の話
を聞く学生さんたち

作業終了後も子どもたちは川に入って魚を一所懸命探っていました。また、学生さんは長老の長野副会長から昔の侍従川の話を中心に熱心に聴いていました。今年最後のクリーンアップは久しぶりに大人数での賑やかな活動になりました。

また、清掃中横浜屋横の川の中で財布を拾いました。中身はポイントカードと有効期間中の免許証が入っていたので、大道交番に届けました。川にはいろいろな物が落ちています。

本日たまたま参加できなかった方も含め、改めてご協力いただいた皆様にお礼を申し上げます。「一年間ご協力頂き有難うございました。来年も是非ご協力をお願い致します。」



大道橋上流の草刈り作業



横浜屋駐車場の上流



回収したゴミ袋：11袋 傘2本、
長柄箒、プラスチックの板等



前月刈り取った里野橋脇の草

《侍従川流域 生き物発見記録》

☆ツミ（タカの仲間：神奈川県絶滅危惧種）

…1/9 東朝比奈 佐野特派員 →

☆ふきのとう…2/26 大道小 山田特派員

☆ヤマアカガエルのオタマジャクシ…

2/26 大道小 山田特派員

☆梅開花… 3/4 大道 廣瀬特派員

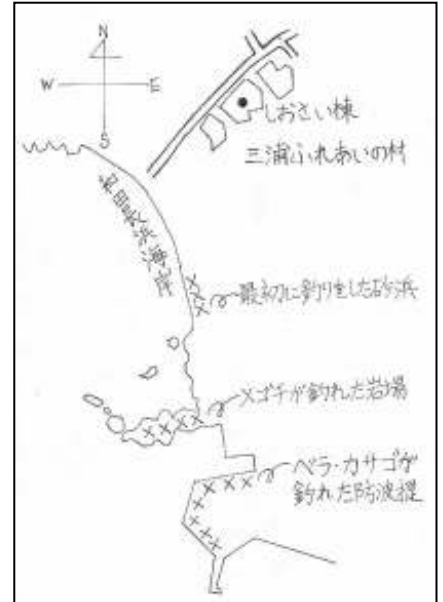


学生部冬季合宿 in 三浦
12月26日(月)～27日(火)

【活動報告2】
金子英司

12月26日から27日にかけて山田さん、井上さん、瀧本さん(途中まで参加)、佐野さん(途中参加)、古寺君、鈴木君、埜田君と私の総勢8人で『学生部冬季合宿 in 三浦』のために三浦ふれあいの村まで行きました。

八景から電車で30分、徒歩20分かけて三浦に行き、『和田長浜(わだながはま)海岸』にて昼食後、『三浦ふれあいの村』に入村しました。その後、昼食をとった海岸に行きました、今回はこの海岸で2日間活動します。メインの活動は釣りです。まず初めに浜からチョイ投げをします。数分しても、食べられない『タツナミガイ』と『クサフグ』しか釣れません。これでは明日の昼ご飯用の食糧が足りません。なので、もう少し南側にある岩場と防波堤へと移動しました。岩場では山田さんが『メゴチ』(リリース)を、防波堤では井上さんが『アカメフグ』を釣り上げ、その後みんな『ベラ』を数匹ずつ釣り上げました。ある程度、区切りがついたところで昼間の活動は終わりです。ふれあいの村に戻り、しばらくしたら夕食です。メニューはから揚げでした。ここで残念ながら瀧本さんとはお別れでした。



夕食後、夜の磯観察です。ここから佐野さんが参加しました。『ダンゴウオ』捕獲を目的にした観察会でしたが、目的の『ダンゴウオ』は採れませんでした。山田さん曰く「まだ海藻(のウミウチワなど)が生えてきてないから採れないのも仕方ない」だそうです。個人的に調べたところ、『ダンゴウオ(学名: *cyclopteridae*)は、カサゴ目カジカ亜目に所



属する魚類、体長2cm未満、20mまでの浅い海に生息し、冬にはタイドプール(潮溜り)にも見られる。ハゼ科などの魚にも見られる腹鰭が変化した吸盤を持っている。12～1月位の季節になると、体長1.5cmほどの成体が産卵場所を求め浅場の海藻域に登ってくる。』だそうです。これなら、山田さんが言っていたことも納得できます。

この磯観察会で一番珍しかったのは『ミミズハゼ』でした。佐野さん曰く「ミミズハゼには種類が多く、もしかしたら貴重な種類の可能性もある」とか!?と、このような感じで夜の磯観察は終わりました。入浴後、少しの雑談を挟んで楽しい一日目が終わりました。

翌日 7:30 の朝食後帰り支度が済むと、また『和田長浜海岸』に行きました。今日は、昼ごはんを自分達で作るので、ご飯を炊く係と、食糧調達班とに分かれて活動です。火は野田君が一生懸命おこしてくれたそうです。私たち食糧調達班は昨日多くの魚が釣れた防波堤へ釣りに行きました。昨日はベラしか釣れなかったのに今日は鈴木君が『カサゴ』と『イシガニ』を、井上さんは『ベラ』をたくさん釣りました。しかし残念なことに私は何も釣れなかったです。なので、私と古寺君は『マツバガイ』や『カメノテ』を採りました。

2時頃に釣りは終了。ご飯を炊く係の山田さん、野田君がいる岩場へと行きました。さて、今日の昼ごはんは、炊いたご飯と『日本風ブイヤベース(ごった煮)』です。材料は『イセエビ』(山田さんが買った)・『カサゴ』(鈴木君が釣ったのと山田さんが買った)・『ハマグリ』(古寺君が採った)・『ベラ』(みんなで釣った)・『イシガニ』(鈴木君が釣った)・『マツバガイ』『カメノテ』(古寺君が採った)・『アオサ』(井上さんが採集)・ヒジキ・(ネギ・味噌)と大変豪華なものでした。味はいろいろな魚貝類からいい感じにだしが出ていて大変おいしかったです。これですべての活動は終わり、私たち学生部は帰宅しました。

今回の合宿の目的である『共同生活を通して絆を深める』『学生が自分たちでプランニングすることによって自主性を育む』『侍従川流域にない自然を知るとともに、三浦半島の自然を知る』の通り、共同生活で新しい人とも知り合えたし、自分たちなりにしっかりと活動でき、新たな生き物と出会いも数多くあり、この二日間は大変充実したものでした。

トピックス

◎第26回横浜の水辺と緑を考えを子ども会議(3/25金沢自然公園ののほな館開催予定) 実行委員会が実施される。

1/29(金沢自然公園ののほな館) 石黒、長崎、深沢、廣田、遊佐、山田が参加

3/4(大道コミュニティハウス) 米塚、石黒、長崎、白石、角井、深沢、廣田、柴田、浅野、西井、佐野、山田が参加

3/18(二ツ池・横溝屋敷) 長崎、深沢、廣田、白井、柴田、浅野、西井、佐野、山田が参加

◎大道二丁目2507-2(大道小の裏山)の緑地が公売の動き

◎3/14(木)『“つながりの森”ワークショップ』横浜市環境政策課主催 栄区役所…山根、斎藤、西井、山田が参加

◎平成24年度『環境教育出前講座「生物多様性でYES!」オーダーメイド型の講師(bサポーター)に、ふるさと侍従川に親しむ会が登録(担当…山田)



1月28日(土)にあしふねが2艇完成しました。夏場に侍従川の葦が刈られてしまい、あしふねを作る葦がない!というアクシデントで完成が危ぶまれていました。ところが、あしふね職人さんたちの素晴らしいチームワークにより、昨年の葦船をいったん解体し、部位ごとにラセンを作り直して組み上げるというスーパーリサイクル作戦で見事に完成したのです。



小さなころから葦船づくりを見てきた子たちはもう5年生となり、ロープワークはお手のもの。ラセン巻きも子どもたちが中心になってスムーズに作業が進みました。お昼にはトン汁がふるまわれ、寒いからだが温まりました。

まだ名前は決まっていませんが、4月に関東学院大学漕艇場で乗船会が開かれますし、夏場の川下りでもこの船が大活躍することでしょう。楽しみです。



1月定例クリーンアップ

【活動報告4】

1月29日(日) 9:00~11:40 曇り3℃

大道東橋~朝比奈橋(ゴミ拾い)、朝比奈橋~青木橋間(草刈り) 細川一雄

参加者:長橋輝明、角田繁、西澤博厚、外川忠志、村田章夫、石渡博、廣瀬隆夫、
細川一雄(計8名)

大寒に入り、当日も3℃と手がかじかむほどの寒い朝(しかも曇りで日が当たらず風も吹いて寒さが身にしみます)、いつものメンバーが集まりました。倉庫に置いてあった携帯型カイロをポケットに入れ暖を取ります。また、軍手の上にゴム手袋をつけゴミを拾っても手が濡れずしかも冷えないように万全の態勢です。

今回は、新年最初のクリーンアップ、年始の挨拶もそこそこに作業を開始します。大道東橋~二の橋は廣瀬さんにゴミ拾いを担当してもらい、残りのメンバーは伸びたまま枯れた草が多く残る朝比奈橋~青木橋の上流域に向かい草刈りとゴミ拾いをを行います。

廣瀬さんは千寿園から川に入り下流に向かってゴミ拾い開始、他のメンバーは地藏前の橋から川に入り上流に向かってから草刈りとごみ拾いを下流に向かいながら開始しました。この流域は年に1回の草刈りを行っていますが、草刈り後に伸びたススキなどが大分大きくなっています。

また、途中から外川さんが参加してくれましたので、数ヶ月前から汐見橋の下に放置されていた自転車を引上げに。前の日に作った引っ掛け金具を使って何とか引上げました。自転車の処理については盗難車が捨てられている可能性があるため、作業終了後念のため大道交番に行って事情を説明し警察官に車台番号を確認し、遺失・盗難届けが出ていないか確認してもらいましたが、いずれも無いとの結果でした。

11時30分頃に作業が終了し、ちとせ園に集まりました。毎月公園で喉を潤おしてから解散していましたが、余りの寒さに今回はそのまま即解散しました。



2月臨時クリーンアップ

【活動報告5】

2月8日（水） 9：30～12：50 曇り6℃

大道東橋～朝比奈橋（ゴミ拾い）

細川一雄

参加者：村田章夫、細川一雄（計2名）

前日、この冬久しぶりの雨が降り、横浜市には南風が吹いた2月7日、村田さんから葦原の付近に多数のペットボトルが流れ着いているとの電話が入り、急遽8日にゴミ拾いを実施しました。

ついでに上流近辺も一緒にやってしまおうと、早めに川に入り朝比奈橋から下流に向かいゴミ拾いを実施。

前々回家庭ごみが散乱していた里野橋下で、スチール製の椅子が廃棄されているのを発見、何処も壊れていない綺麗な椅子です。直ぐ上がゴミ置き場ですので、ゴミとして出したものが回収されず、そのまま残ったものを川に捨てたか??。また、大道橋上流の土が堆積している場所で焚き火の跡を2箇所確認しました。

途中、ちとせ園でゴミ袋と椅子を置いて、本日掃除予定の大道東橋に向かいます。当日の大朝の時間帯が11時30分でしたので丁度潮も引き、川の水が少なくなっていて日頃掃除できなかった場所まで掃除できました。

大道東橋の下には、多数のタバコの吸い殻が固まっています。また、上流から流れてきた草がいっぱい川の底に澱んでいました。丁度川の流れが弱くなり、上流から流れてきた物が川底に沈んでいる場所の様です。

大道東橋から今度は上流に向かいゴミ拾いを行いました。

12時30分頃に千寿園に到着しゴミ拾いを終了しました。前回、ゴミ袋と自転車を県営住宅跡地に置いていたら、ガス台を捨てられてしまったので、今回は、ちとせ園の階段の下に置いておきました。



大道橋上流の焚き火の跡



県営住宅跡地に捨てられていたガス台

ネイチャークラフト教室
2月12日(日) 9:00~

【活動報告6】
西井洋一

2月12日、つるで編むかご作り教室が、盛大に行われました。
まずはみんなで材料のつる採りへ。
大人も子どもも地面を這ったり、崖のような斜面を進んだり……。
みんなが、みんなのために協力して、たくさんのつるを集めました。
採れたつるは、オオツツラフジ、クズ、アケビで、種類によって特徴があり、単に編む
技術だけでなく、その選び方にも眼力が問われます。
当初イメージしていた物と徐々に異なる形になっていくのも、かご作りの醍醐味？
そんなこんなで作り上げたみなさんの力作は、写真をご覧ください。
子どもたちの表情も去る事ながら、十人十色のかごの様々な表情にも注目です！



2月定例クリーンアップ

【活動報告7】

2月26日(日) 9:00~14:30 曇り7℃

大道溪谷(枝切り、ホタル水路養生)、金の橋~長島橋(ゴミ拾い) 細川一雄

参加者: 長野政治、八木場紀元、角田繁、村田章夫、西澤博厚、外川忠志、廣瀬隆夫、山田陽治、高木之靖(パノ)、佐野真吾、山根美代、金子英司、米塚友里、白石匠、角井、石黒勇次、廣田結、白井麻由、白石守、深沢大地、細川一雄(計21名)

2月に入り厳しい寒さが続いていましたが、下旬になるとその寒さが少し和らいできました。カイロをつけなくてもそれほど寒さを感じず、更に風も無いため体を動かしていると体がすぐ暖くなり作業には絶好の天気でした。

9時10分までに鋸や高枝切り、枝切り等の道具の準備を終わり一路大道中学校に向かいます。

現場で、山田さんから「ホタルの飛翔の邪魔になる枝や日光を遮る枝と常緑樹を切り、子ども達は切られた枝や蔓を溪谷奥に運んでください」との話があり、作業開始です。

今回はグランドの奥のホトケ泥鰌が生息する場所も枝切りを行いました。大人達が高枝切りや鋸で切り落とし、手斧や鋸で小さく切断した枝を子ども達が山の奥に運んでいきます。11時10分頃に枝きり作業を終え、切り落とした枝を山の奥に運ぶ作業と現場の掃除をして、11時30分頃に作業を終了しました。

その後、定例のゴミ拾いを行うためクリーンアップメンバーは金の橋から川に降り環状4号線の暗渠をくぐって下流に向かいます。セブンイレブンの横の橋下には店で購入したと思われるおにぎりのビニール袋などが大量に落ちていました。そのまま二の橋までゴミ拾いを行い、3袋分を回収しました。また、ジュニアと学生部のメンバーが二の橋から長島橋間のゴミを拾い1袋分のゴミを回収してくれました。



ホタルの水路の養生



切り落とした枝と枝打ち作業



グランド奥の枝打ち

2月8日の5袋分と合わせ9袋分を県営住宅跡地に置き14時30分頃作業を終了しました。

今年も沢山のホタルが見られると良いですね！



回収したゴミ
(土のう袋9袋)



ブックオフ裏撤去前の状態
(2月13日)

←ブックオフのフェンスに掛かっているシート。切れた部分の糸がほつれて川に大量の糸くずが長い間落ちていた。再三対応をお願いしたが善処されないため、2月13日副店長に直談判し即時撤去してもらった。

佐野真吾が語る侍従会の思い出 ～侍従会と部活はどちらが大事？～

現在侍従会で活動している小・中学生の皆さんの中で、中学生になっても侍従会は続けられるのか？ やはり部活に入ると侍従会に行く時間はないのではないのか？ 侍従会と部活の両立はできるのだろうか？ そんな心配をする人が多いのではないのでしょうか。今回はそんな心配をする人の参考になるように(?)、私の経験談を踏まえてお話ししたいと思います。

私は中学生の頃、大道中学校の陸上部に所属していました。なぜ陸上部に所属したかというと、ただ単に足が速かったことや虫とりのための体力をつけたかったという理由でした。そのため、入部する前の説明会では、侍従会や虫に関する活動を優先的に続ける中で、陸上部にも入部させていただくことはできないかということを顧問の先生に相談しに行った記憶があります。しかし、先生方の了承を得られたとはいえ、入部したての頃は先輩もいてやはり真面目な姿勢をみせておかなければなりません。

ところが、ご存じの方も多いと思いますが、大道中学校は自然に恵まれていてランニング中もよく生きものと出会うのです。そのため私の真面目な姿勢が続いたのも僅か1か月足らずでした。先輩たちとの練習中にアオダイショウをみつけて、先輩も巻き込んでヘビ探しをしてしまったり、走っている途中でコースアウトをしてトンボを追っかけてしまったり…、中学2年生になる頃には部活中でもポケットに三角紙とタッパーを忍ばせ、カバンには常に捕虫網が入っているという状態でした。こうして私はいつしか先生や部員たちの間でも“虫好きの佐野”として認知されていったのです。

そんな中学2年生の春頃、この日は顧問の先生が二人とも練習に来てくださるということで部員たちも緊張していました。ちなみに、当時の陸上部には顧問の先生が二人いて、一人は若くて綺麗な女の先生A先生、そしてもう一人は鬼のように怖く不良も震え上がらせるD先生がいました。

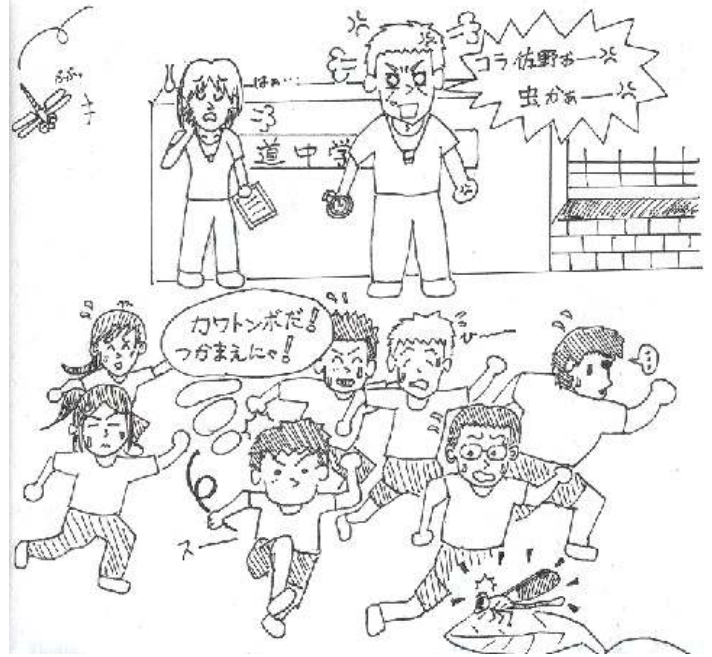
こうして緊張感漂う中、外周のランニングが始まりました。いつもより皆ペースが速く3周もした頃にはバテ気味です。

そして4周目に突入しようとした時、私はコース沿いに生えている葉の上にカワトンボがとまっているのを見つけてしまったのです。「カワトンボだ！採らなければ！」私はランニング中であることを忘れ、反射的にカワトンボの方に向かって走ってしまったのです。するとすぐにD先生の怒声が飛んできました。「佐野おー！虫かあー！」D先生の怒鳴り声で我に返った時、私はすでにカワトンボを捕獲した後でした。そしてようやく「やばい…」という感覚で体が固まったのでした。D先生は怖い顔をしながら私の前まで来ました。「今回はヤバい！これは怒鳴られるだけじゃすまない…」しかし、少し沈黙があった後D先生は、「トンボ…早くしまって来い！」とだけ言って行ってしまったのです。「はいっ！」と返事をした私の横で、もう一人の顧問のA先生が笑いながら「よかったわね！早くしまっけて戻りなさい！」と言いました。

こうして私はお咎めもなく事なきをえたのでした。今思うと二人の先生の理解と優しさが身にしみます。

しかし、それから私は凝りもせず部活中に虫とりをしました。もちろん先生の前では真面目な姿勢でいましたが、ポケットには相変わらず三角紙とタッパーにミニ捕虫網を加えてランニングをしていました。仲間たちもランニング中にタマムシやクワガタを拾ったら私に届けてくれたり、当時私がハマっていたアカシジミという蝶の採集にも夕方まで付き合ってくれました。

そしてその年の夏、私がタガメの研究について理科のコンクールで受賞すると、最初に褒めてくれたのが部活の顧問であるD先生でした。「佐野！賞もらったんだってな！凄い



じゃねえか、よかったな!」。またA先生には「部活中の虫とりも役にたっているのね(笑)おめでとう☆」と言われました。

今まで大会出場やレギュラーに選んでいただいていたにも関わらず、期待に応えず侍従会や虫に関する活動を優先してきた私は、自分なりに先生方に申し訳ない気持ちを抱えていました。しかし、部活中の虫とりや受賞した時にかけてくださった言葉は、先生方が私を理解してくれたようで凄く嬉しかったのです。

そして、それから5年以上が経ち、偶然にもA先生が、侍従会の会報を編集してくださっている河本さんの娘さんの担任であることが分かりました(それも今から数年前の話ですが)。A先生は私のことを覚えてくださっていて、「佐野くんは部活中に虫とりばかりしていました(笑)」と語ったそうです。その節は温かく見守っていただき感謝しております。

さてさて、侍従会と部活は両立できるのか?という当初の話に戻りますが、私が果たして侍従会と部活を両立できていたか分かりません。しかし、その時、自分の一番やりたいことがはっきりしていて、それをやるべきこととして納得できるまでやるのが重要なのだと思います。優先順位と言ってしまうのは簡単ですが、当時の私は両立とまで言わずとも自分の一番やりたいことを納得する活動にできていたのではないかと自負しています。自分で決めたことを納得するまでやるということは、やりたくて始めたことでも時には大変で辛いこともあります。現在中学生の皆さん、これから中学生になる皆さんは、侍従会でも部活でも自分の一番やりたいこととして納得する活動にすれば、きっとどちらの活動でも大切な経験値となるのではないのでしょうか。





だよい

《大道よもやま話》

大道村の活動は、「ソフトの部分」で地域貢献をと考え、地域に伝わる昔話や言い伝えを記録して残していく活動「大道よもやま話」が昨年8月から始まりました。第4回は、西大道の藤田義明さん、第5回は朝比奈の森勇二さんと森政一さん、3月10日の第6回は、当会の副会長、長野政治さんをお招きし、話をいただきました。



長野政治さんは、昔「ちょい悪？」だったそうで、近隣の崖を切り崩した土を運ぶ「トロッコ」に乗って遊んだ話や、戦時中、学徒動員で働きに出かけた先でよくたたかれた話、侍従川のウナギは、ウナギ取りを仕事にしている人（プロ）も取っていたといった話が次々と飛び出し、楽しい時間があっという間に過ぎてしまいました。

平成25年度は、大道小学校の70周年行事もあるので、次回は、趣をちょっと変えて、第1期の卒業生数名に集まっていただいて座談会を行うことを考えています。

《3月16日 菜の花に囲まれて大道村卒業式》

3月17日の朝日新聞 朝刊「神奈川版」に記事が載りました。今年の菜の花はよく育ちました。

菜の花の種がとれたら、侍従川の護岸や空き地にも種を蒔けたらいいなと思っています。その時は、よろしくお願いします。

伊藤 憲生



育てた菜の花に囲まれて卒業式 大道小

横浜、川崎など県内の約半数の公立小学校で16日、卒業式があった。横浜市金沢区の大道小学校（小泉啓治校長、288人）では、全校児童が育てた菜の花に囲まれて53人が巣立った。

菜の花は昨年10月に児童が種をまき、1人一つの植木鉢

に大切に育ててきた。3月上旬まで気温が低めで、咲きそろそろか気をもんでいたが、この日を待っていたかのような満開で、会場は優しい香りに包まれた。卒業生の斎藤美咲さん（12）は「菜の花を通して、下級生の気持ちが伝わってくるようです」と話していた。

侍従川生き物図鑑 No.15

～ ハヤシノウマオイ ～ (キリギリス科)

学名：*Hexacentrus hareyamai*

体長：28～36ミリ

分布：中流域から上流域

童謡「虫の声」に登場する鳴く虫の代表といえる昆虫で、夏から秋にかけて住宅地の植え込みや、空き地の草むらなどでスーイッチョンツ、スーイッチョンツと鳴いているのを耳にします。見た目に反し意外と獰猛で幼虫の頃から小さな昆虫などを捕らえて食べます。そのため前足と中足には獲物を抱え込んで逃がさないためのトゲがびっしり生えています。



横浜市金沢区 7月



ウマオイの幼虫



羽化したてのウマオイ

琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～

～ リュウキュウイノシシ ～ (イノシシ科)

学名：*Sus scrofa riukiuanus Kuroda*

体長：110センチ

分布：奄美大島、徳之島、沖縄島、石垣島、西表島

沖縄本島北部でよく見かける哺乳類で、大宜味村などの集落の里山では畑の農作物をイノシシによる食害から守るため、長い距離に渡って山中に石垣を積んで進入を防いだそうです。食べ物は植物の木の芽や実から昆虫、両生類、ときにはハブまでもたべてしまうことがあるそうです。写真のイノシシはまだ子供で林道を兄弟で歩いていて、最初に遭遇した子イノシシは逃げてしまいましたが、もう一頭は僕のオートバイを親のイノシシと勘違いしたらしく、気づくまでは向こうから近寄ってきました。赤ん坊らしいよちよちと歩くその姿はとても可愛らしかったです。



大宜味村 5月



近づいてくるイノシシ

監修：熊井（沖縄在住）

ヤマアカガエルの産卵、フキノトウ、天然シイタケ春子の初ものと季節は朝比奈周辺でも春に向かい進行中です。

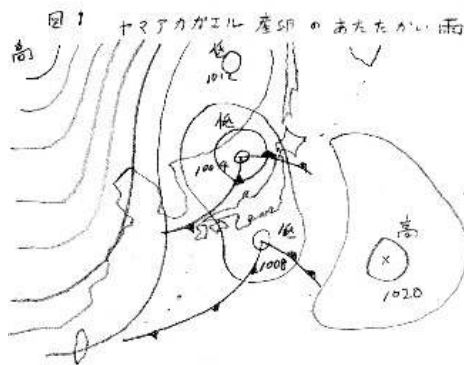
2月29日は大道の平地でも大雪となり十二所山頂では20cmの積雪でした。3月1日には大きく育った径20cmの天然シイタケに、1本が小指ほどもあるエノキタケなど早春の天然キノコを味わえた。

キノコや山菜、生き物たちの動向を予知するには、天気の動きを知ることが大いに役立ちます。



2月29日十二所稜線

図1 はヤマアカガエルが産卵するような気温5℃以上の雨の夜が予想されるパターン。移動してきた高気圧は日本の南東に去り、日本をさむように低気圧が通る。あたたかい空気を北日本まで送りこみ、関東地方は雨で気温も下がらない。



南東から
しめた
あたたかい風

図2 は大雪パターンで北日本を高気圧が通り、後を追う低気圧が日本の南海上を進む。低気圧に向かい上空の高さ1500m以下の層に北から冷たい気流が流れ込む。大道あたりの町中で5cmくらいの雪になれば水源の山頂では15cm以上のことが多い。

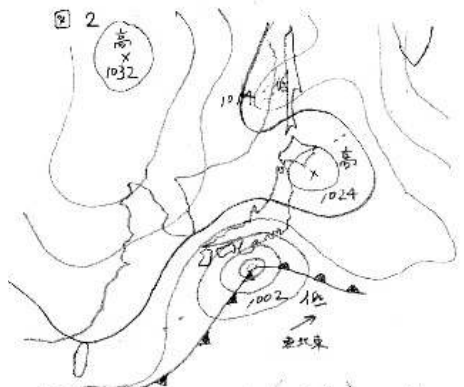


図2 関東で大雪
冷たい気流が
あつまる

図3 は春一番など南風の強風のパターン。雨の量は湿った気流が強い場合多い時であれば伊豆や箱根、富士山のフェーン現象で降らないことも。とにかく南～南西の強風が吹きあれ気温も15℃以上20℃位までなり、花粉もひどくなる。春先の大きく気温の上がる原因で動植物の動向に働きかけが大きい。

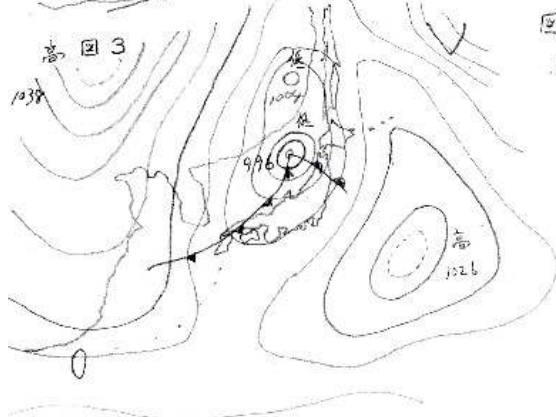


図3 春一番
もうれつな
南風

虫のきょういく座談会 ～オニヤンマは奥が深い～

参加者：梅田、山田、佐野

夜7時半頃、佐野は上大岡にあるステーキ屋“けん”に向かった。入店するなりサラダバーのコーナーに懐かしい人が…

佐野「どうも！ ご無沙汰です☆」

梅田「あれっ！ サノシン来たじゃん！ 山田くんが今日来れなくなったって言ってたから！」

梅田氏は侍従会創設メンバーの一人でトンボ類の専門家である。佐野の連載『佐野真吾が語る侍従会の思い出』にも何度か登場している。そして何を隠そう山田陽治氏の学生時代の同級生でもある。

山田「あっ！サノシン来た！」

佐野「あの…僕、来れないなんて言ってないんですけど…（笑）」

梅田「全然コミュニケーションとれてないじゃん（笑）」

こうして座談会は始まった。さてさて今日はどんなマニアックな座談会となるのやら…

佐野「そういえば今月の“月刊むし”（昆虫専門の雑誌）にベトナム産のミナミヤンマが載っていたのを見ました？ 蝶みたいな翅でカッコよかったですよ☆」

梅田「*Chiblogomphus papilio*（クロゴンプス パピリオと読む）でしょ？☆ あれはいいねえ～♪ やっぱりクロゴン（虫屋用語の略）はいいよねえ☆」

山田「なになに？ 何の仲間なのそれ??」

佐野「ミナミヤンマですよ☆ オニヤンマとかに近い仲間です☆」

山田「ミナミヤンマかぁ～日本だと沖縄とか奄美にいるやつだよねえ？ 身近じゃないからイマイチ親近感が湧かないなあ～ そもそもオニヤンマの仲間っていうのがザコっぽいなあ！」



ミナミヤンマ

この時点で山田氏の反応は通常なものであったのかもしれない。しかしここからは珍しく山田氏の意見がことごとく覆されていく。



オニヤンマ

梅田「出たよ！まさに素人の発言だよ！」

山田「梅田くんはオニヤンマ好きなの？」

梅田「オニヤンマは実に奥が深い！！オニヤンマは知っての通り日本全国に分布してるんだよ。でも

そのオニヤンマを日本全国で採って北海道から西表島までの標本を並べてみた？」

山田「いや…（笑）」

梅田「サイズや形態、生態までもが異なってくるんだよ！特に北海道と西表島の個体を比べるとその違いは明白なんだよ！そうするとその間に分布しているオニヤンマはどうなんだろうなあ〜って日本全国のオニヤンマを採りたくなるじゃないか！」

さすが一流のトンボ屋さんである。山田氏は少し圧倒されているようである。

山田「じゃあやっぱ梅田くんはオニヤンマが一番好きなの？」

梅田「う〜んそうだなあ〜 *Macromia* も好きかなあ〜♪」

山田「えっなんて？（笑）マクロ？（笑）」

佐野「マクロミア。コヤマトンボの仲間ですね！」

梅田「そうそう☆昔、山田くんとも西表に探しに行ったじゃない！」

山田「ああ！サキシマヤマトンボとかタイワンコヤマトンボとか…」

梅田「うんまあ、サキシマヤマは *Macromedia* だけだね。」

山田「コヤマトンボの仲間かあ〜…悪くないけど、雌がズド〜ンでみよ〜んって感じでカッコ悪くない？」

正直山田氏の表現は佐野にもよく分からなかった。しかし、佐野がツッコム前に梅田氏が痛烈な発言で山田氏にとどめを刺しに入った。

梅田「そもそも俺が言いたいのはカッコイイとかカッコワルイとかじゃなくて、トンボのこんなところが面白いとか、興味深いとかそういうことなんですよ…（笑）」

それをズド〜ンとかみよ〜んとかよく分からないことばっか言って…。…」

山田「はい…（笑）…でもオニヤンマは奥が深いことは分かりましたよ？（笑）」

梅田「はあ…聞いたサノシン？これだよ…（苦笑）」

その後、話は山田氏の結婚観についての話題へと変化したが、その話はまたの機会にしたいと思う……。

（おわり）

侍従川定例調査報告 学生部

12月25日(日) カモ調査 晴れ~くもり~雪 13:00~14:00

調査者：西井、酒巻、柴田、山田

【大道東橋】カルガモ11、ホシハジロ1♀

【汐見橋】カルガモ1、オナガガモ17♂10♀、

ヒドリガモ 11♂7♀、ホシハジロ7♂1♀



オナガガモ

オナガガモ 西井洋一

2月21日(火) 侍従川源流域臨時調査

調査者：山根、佐野、山田

【大道中学校大道溪谷】ホトケドジョウ、カワトンボ(幼虫)、ミルンヤンマ(幼虫)、オオシオカラトンボ(幼虫)、

カワゲラ sp(幼虫)、ユスリカ sp(幼虫)、ミズムシ

【ホタル谷戸】ヤマトクロスジヘビトンボ(幼虫)、

ガガンボ sp(幼虫)、カワニナ

【朝夷奈切り通し入り口】湿地の乾燥化。生物は発見されず。



カルガモ

カルガモ 酒巻稜生

2月26日(日) 曇り

調査者：白石守、深沢、廣田、白井、石黒、角井、白石匠、
米塚、野田、金子、山根、佐野、山田

中潮 満潮06:59 (173cm) 19:22 (158cm)

干潮00:57 (40cm) 13:23 (42cm)

【大道中学校大道溪谷】(源流域) 11:30~11:55

気温：6℃ 水温7.5℃

生物：ハリガネムシ sp1、カワニナ、ミズムシ、

ユスリカ sp(幼虫)、クロスジギンヤンマ(幼虫) 2、

オニヤンマ(幼虫) 1、オオシオカラトンボ(幼虫) 1、ホトケドジョウ38



ホシハジロ 柴田真穂



ヒドリガモ 山田陽治

【ちとせ園(大道一丁目緑地)~大道東橋】(中流域) 13:15~14:20

気温：9℃ 水温：10℃

生物：カワニナ2、ヤマサナエ(幼虫) 2、コシボリヤンマ(幼虫) 1、シオカラトンボ(幼虫) 1、ミルヌマエビ5、テナガエビ6、チチブ5、シマヨシノボリ1、

ウキゴリ4、スミウキゴリ3、カルガモ1
 備考：クリハラリス（タイワンリス）の死骸発見
 平行して、ゴミ拾いも行った

【大道東橋～新川橋】（下流域） 15:00～15:45

○大道東橋 カルガモ9

○高橋～汐見橋 コサギ1（電線にとまっていた）、

カルガモ11、ヒドリガモ6♂3♀、オナガガモ1♂2♀、ホシハジロ1♂2♀

○新川橋 ハクセキレイ1 ※カモ類は見あたらず



『森の遊び人・やまだようじの自然遊び教室』 その5「草笛」



春は葉っぱがやわらかく、
 草笛に向けた季節。
 最も簡単な吹き方です。

『モリゾー・キッコロ森へいこうよ!』

(NHKEテレ) 土曜 am7:15～7:30

(再放送 木曜 pm3:45～4:00) 放送中

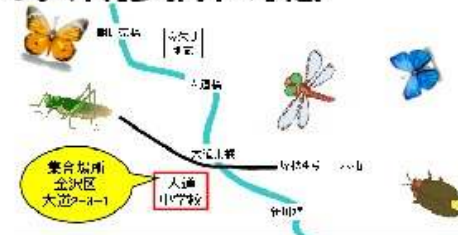
「森の遊び人・やまだようじのブログ」

<http://ameblo.jp/yohji46/>

侍従川の大掃除に参加ください!

5月19日(土) 午前9時に大道小学校集合

侍従川(新川橋～金の橋間)の自然を体感しながら捨てられたゴミを回収
 します。約2時間半の予定。



持ち物: コンビニ袋(ゴミ入れ用)、飲み物
服装: 長靴、できれば長袖、帽子
(雨の時は翌日 5月20日に順延)

主催: ふるさと侍従川に親しむ会
 会長: 相川澄夫 045-786-0039
 実施責任者: 細川 090-2724-4439

事務局だより

事務局運営委員 長橋 輝明

◆4月～5月の活動予定◆

☆4/7 (土) 春の草摘み&野草料理 ※要申し込み…諸事情により中止の場合あり

☆4/8 (日) 葦船修理

☆4/14 (土) 葦船乗船会 ※雨天順延4/15 (日)

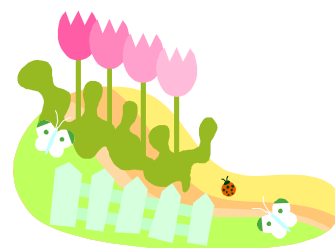
☆4/22 (日) 侍従川定例クリーンアップ ※雨天延期…翌週日曜

☆5/6 (日) 潮干狩り&干潟の生きもの観察会in野島

☆5/19 (土) 侍従川大掃除 (前ページのポスターもご覧ください。)

※雨天順延5/20 (日)

☆5/27 (日) 侍従川定例クリーンアップ



▲学生部の活動▲

◎4/21 (土) 新入生歓迎遠足in森戸川

★ふるさと侍従川に親しむ会メールマガジン【びりんご通信】が、まぐまぐ!から配信されています。<http://mobile.mag2.com/mm/0001435471.html>から登録できます。

☆『侍従川かわら版』1.侍従川のカモ、2.侍従川流域のカエルができました。ホームページ <http://jijyukai.web.fc2.com/>からご覧ください。

★活動の詳細(持ち物など)もホームページをご覧ください。

☆Facebook「グループふるさと侍従川に親しむ会」ができました。

■2012年度会費納入のお願い

4月から新年度になります。新年度分の会費の納入をお願いいたします。現金での支払いは間違いのもとになりますので必ず同封の郵便局払込票で支払ってください。

口座記号番号：00230-5-68634 加入者名：ふるさと侍従川に親しむ会

年会費：学生部・ジュニア 1,500円 大人 3,000円 納入期限：2012年4月28日

ふるさと侍従川に親しむ会 事務局 長橋 輝明

TEL&FAX：781-4042 e-mail：jr-nagahashi@seaple.icc.ne.jp

《編集後記》 今回は、治水事務所との話し合い詳細報告(2～6ページ、ヤマアカガエルの緊急報告(7ページ)、県絶滅危惧種のツミ発見(10ページ)など注目情報が満載です。今年も侍従川周辺の様々な情報をお伝えできたらと思っています。(MK)